

未来へつなく、みやざきの海のバトン



日知屋小と海のリレープロジェクト 第2回目のプログラムを実施

2026年6月10日（水） 【場所】日向市立日知屋小学校



概要

「海のリレープロジェクト」は、日向市教育委員会と連携し、日向市立日知屋小学校の6年生31名を対象に「日知屋小と海のリレープロジェクト」をスタートしました。

本プロジェクトでは、『豊かな宮崎の海を未来へ残していきたい』という想いのもと、5月から7月までの期間、複数回にわたって校外学習や実体験、専門家による講話など、多彩なカリキュラムを通じて海の現状を学習します。

■ 学習のテーマ

【宮崎のイルカ・クジラ～骨から分かる進化と生物多様性・海の問題を考える～】

講師：宮崎大学教育学部 理科教育・生物講座 西田 伸教授

今回の海洋学習では、生物学を専門とする西田伸教授を講師にお迎えし、海の問題をはじめ、宮崎県の海岸に打ち上げられたクジラやイルカの骨格標本を使い、海の生き物たちが歩んできた進化の過程について学びました。

1. 海の問題とウミガメが直面する危機

まず初めに、海に流れ込んだプラスチックごみを海の生き物たちが誤って食べてしまうという問題について、講義が行われました。

実際に青島や日南の海岸に漂着したウミガメの胃や腸からは、漁網や風船、プラスチック片などが見つかっています。西田教授は「プラスチックは自然界で分解されません。もし小さな生き物がごみを誤って食べてしまうと、体内に化学物質が溶け出す恐れがあります。また、それらを食べ過ぎることで、命を落とす危険性もあるのです」と、胃の中から出てきたごみの写真を子どもたちに見せながら、その深刻さを子どもたちに伝えました。（写真2）

実は子どもたちが暮らす日向市の海岸は、屋久島に次ぐ全国2番目の規模を誇るアカウミガメの産卵地です。この美しい海岸が汚れてしまえば、ウミガメがごみを誤飲して死んでしまうかもしれません。「海をきれいにすることが、目の前の命を守ることにつながる」という事実を、子どもたちは真剣な表情で受け止めていました。



写真2 実際にウミガメの胃や腸から見つかった様々なプラスチック製品



2. 骨格標本で学ぶ「命の歴史と進化」

後半は、骨格標本を使った授業です。

2018年に宮崎市・青島の海岸に打ち上げられたニタリクジラの赤ちゃんと、2022年に日南市で座礁したハンドウイルカの全身骨格を、まるでパズルのように組み立てながら生物の仕組みを学びました。

赤ちゃんとはいえ、ニタリクジラの骨は約4メートルもあり、子どもが3人横に並んでも足りないほどの大きさ。子どもたちは目を輝かせながら、夢中で骨を並べていきました。



西田教授は「骨を見ると、その生き物がどんな暮らしをしていたのかがわかります。骨は、私たちにたくさんのことを教えてくれるんです」と解説。子どもたちは実際に骨に触れることで、自分たち人間と同じ「哺乳類」としての体のつくりや共通点に気づき、生き物が食べるものや暮らす環境によって骨格がどのように異なるのか、その特徴を学びました。

さらに、西田教授は、「みんなは『進化』って狙ってできる？ できないよね。進化は偶然なんです。偶然起きた突然変異が、その環境でちょっとでも有利だったら、それが生き残っていくんですよ」と、自然界の仕組みを教えると、子どもたちは深く聞き入っていました。

生き物は長い時間をかけ、環境に適応しながら進化を遂げてきたこと、そしてその背景には壮大な命の歴史があることを学びました。

おわりに

人間が環境を汚してしまい、多くの生き物たちが困っているという事実。これは海だけの問題ではなく、森や川もすべて同じです。

西田教授は、「森が失われれば、やがて海も命を失ってしまいます。自然を守るには、森・川・海という環境全体を『つながり』の中で考える必要があります。すべてがつながっていることを忘れず、自然を大切にしてください」と、子どもたちに強く語りかけました。

自然の恵みに支えられて生きている私たちにとって、海を正しく知ることは、海の未来を守るための第一歩です。今回の学びを大切に、残りのプログラムを通して、子どもたちと一緒に自然と私たちの生活が密接につながっていることを学んでいきたいと思えます。



西田 伸 教授 (にしだ しん)
宮崎大学教育学部 理科教育・生物講座



山崎 直人 (やまざき なおと)
MRT 宮崎放送アナウンサー



本プロジェクトは、“海”を次の世代へリレーしていく取り組みです。

宮崎が誇る豊かな海を未来へ受け継ぎ、30年後、50年後、そして100年後も変わらぬ海を守り続けることを目指しています。海洋教育プログラムやビーチクリーン活動、情報発信などを通して、地域社会と連携しながら、“海”という名のバトンを未来へつないでいきます。

mrt宮崎放送